

信州大学医学部附属病院 整形外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年7月28日

「新規脊椎椎体間スペーサー開発に向けた脊椎 CT 画像の解析」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4811
研究課題名	新規脊椎椎体間スペーサー開発に向けた脊椎 CT 画像の解析
所属(診療科等)	整形外科
研究責任者(職名)	青木 薫(医学部保健学科理学療法学専攻 准教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2022年3月31日
研究の意義、目的	新規脊椎椎体間スペーサーを開発するための研究で、人工股関節手術の長期耐久に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2015年1月1日から2019年12月31日の期間に当院で初回脊椎椎体間固定術を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など／CT画像
他機関への試料・情報の提供方法	郵送により提供します
研究方法	脊椎椎体間固定術の術前・術後の CT 画像を解析して、骨の三次元形状を測定し、脊椎椎体スペーサーの適切な形状をデザインします。
共同研究機関名	福岡大学(責任者:森山茂章)、 長野県工業技術総合センター(責任者:風間 武)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:青木 薫
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 青木 薫(信州大学医学部保健学科・准教授(特定雇用)) 電話:0263-37-2659

既存の診療記録、検査結果、CT画像を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、研究参加施設である福岡大学、長野県工業技術総合センターに提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。